

利用者からの応援メッセージ



一般社団法人日本カルチャーデザイン研究所

花井裕一郎 氏

「本がある」ことで、人と人が交流し、まちを元気にする原動力となります。郷土や生活の営みが愛おしくなり、語りたくなり、また会いたくなるのです。この交流の仕組みこそが、まちじゅう図書館のテーマです。

その中で、ことひらまちじゅう図書館は、民間のチカラで運営をされ、本当に地域発のコミュニケーションツールとなっています。ことひらまちじゅう図書館にある本や資料は、それに触れた方々の教養、知恵です。このことが、様々な絡みを生み出し、琴平町に暮らすこと、訪ねることの楽しさを演出しているのです。琴平町を輝かせ、縁の深みを表現しています。もっと参加される方々が増え、わくわくが増えますように応援しています。



高松信用金庫 琴平支店

支店長 上原賢治 氏

琴平支店に配属されて2年になります。その間、ビッグイベントとして琴平町・まんのう町・高松信用金庫の三者連携協定を締結することが出来ました。これも町内の様々な分野の方々のサポートがあったからこそ出来たことと本当に感謝しています。何か恩返しをしたいと考えていたある日、まんのう町には図書館はあるが琴平町にはない代わりに各々の店が図書館をやっていることを知り、少しでもお役に立ちたいと思い「ことひらまちじゅう図書館」のメンバーに加わらせていただくことになりました。この歴史と伝統のある琴平町で“本”を通して訪れたひとの心に残る、“また来たい！”と思っただけのような居心地の良い空間と親近感が持てる信用金庫の代名詞“Face to Face”でお待ちしています。



灸まん美術館/和田邦坊画業館

学芸員 西谷美紀 氏

和田邦坊（1899—1992）は琴平町出身の人物です。戦前は時事漫画家、小説家として一世風靡。農事講習所の教員を経て、戦後は香川県職員となり讃岐民芸館館長やデザイナー、画家として活躍しました。琴平を題材にした作品も数多く残しており生粋の讃岐っ子。「もっと郷土のことを知りたい」そんな知的好奇心を満たす図書館は、歴史や文化を繋ぐ場所となるのではないのでしょうか。どうぞ琴平町に図書館を。活動を強く支持します。

高田 凜太郎様より（琴平町）



山本先生の本が大好きで、借りに来ています。お母さんと二人で本を選んで借りるのが楽しいです。いつか山本孝先生に会いたいです。前に朝4時に目が覚めたことがあり、お母さんが散歩しようと言ってくれたので商店街を散歩していたら急に雨が降ってきました。まちじゅう図書館のベンチまで急いでいき、雨が止むまでの間、お母さんとベンチで本を読みました。トトロみたいでワクワクしました。

五人百姓 池商店図書館 池 龍太郎様より



五人百姓 池商店図書館には、町の子もたちが夏休みの自由研究で訪れたり、琴平にルーツがある方が自分のルーツを探るヒントを探しに来られたことも。また、琴平で働き始める方がまちの歴史を知るために利用されたり、琴平の歴史に興味がある観光客の方々が来られています。「自分が知らなかった琴平の歴史を知れた」「琴平の町が更に好きになった」「琴平という町の深さを知ることができた」などの声を頂いています。

本のご寄贈ありがとうございます

令和5年度（五十音順）いよ本プロジェクト様（伊予市）、大西文字様（琴平町）、片岡孝暢様（まんのう町）、佐藤 幸様（琴平町）、堀家七子様（琴平町）、本と生きよう！読書運動様、N・S様（まんのう町）、R・O様（琴平町） 皆様のご厚意による本のご寄贈に感謝いたします。※寄贈本受付中

編集後記

公立図書館があれば、読書だけではなく皆が気兼ねなく集まれる居場所になります。あらゆる情報を得られ郷土資料の保存や教育も応援できます。人が心豊かに生きるために不可欠です。でも、無いのなら共助の関係で応援。本があれば「まちじゅう図書館」になります。そして公立図書館設立の機運も高めたいです。ことひらまちじゅう図書館代表 嶋田貴子



【プロフィール】

琴平町在住 司書として大学図書館、公立図書館を経て、現在は琴平中学校図書館で勤務。座右の銘「意識の無いところに道はない。どうしたいの？」

お問い合わせ

ことひらまちじゅう図書館事務局

〒766-0004 香川県琴平町榎井 891-1
琴平町地域福祉ステーション内
Tel 0877-75-1371
Mail: k.machitosho@gmail.com



この活動は『赤い羽根共同募金』の助成を受けて実施しています。